

## I 溶解工程

作業手順（作業名）	危険性又は有害性と発生のおそれのある災害
<定常作業>	
材料投入（自動）	蓋を開けてコンベアで材料投入した時、飛散した粉じんを吸い込みじん肺になる。
	蓋を開けてコンベアで材料投入した時、飛散した粉じんが目に入り目を傷つける。
	蓋を開けてコンベアで材料投入した時、飛散した湯玉が体に当たり火傷する。
材料投入（手動）	材料を入れる時、誤って落とした材料が足に当たり足を骨折する。
	材料の乾燥が不十分なため、水分と溶湯の反応により溶湯が飛散し、体に掛かり火傷する。
キュボラサイホンへのバーナー点火	バーナーのホースを足で引っ掛けて転倒し、顔を擦りむく。
	バーナーのホースを足で引っ掛けてバーナーの向きが変わり、バーナーの炎を浴びて火傷する。
天井クレーンへの乗降	クレーンの通路の一部に手摺がないため、その部分から床に転落し骨折する。
	クレーンへの通路に一酸化炭素が滞留しているため、一酸化炭素を吸い込み中毒を起こす。
中間樋除滓作業（ノロ取り）	ノロが飛散して体に当たり、火傷する。
	ノロ取り棒でノロ取り中に空振り転倒した時、中間樋に当たり火傷・打撲する。
電気炉成分調整	バケツで添加剤を入れる時、舞い上がる粉じんを吸い込みじん肺になる。
	バケツで添加剤を入れる時、舞い上がる粉じんが目に入り目を傷つける。
	バケツを持って樋を乗り越える時、樋につまづき転倒して擦りむく。
	バケツで添加剤を入れる時、湯が跳ねて体に当たり火傷する。
出湯樋除滓作業（ノロ取り）	ノロ取り棒でノロ取り中に空振り転倒し、下の床面まで落下して骨折する。
電気炉除滓作業（ノロ取り）	ノロ取り棒でノロ取り中に空振りして炉の溶湯に落ち、全身火傷する。
	ノロ取り棒が折れ、落ちたノロ取り棒で跳ねた湯が体に当たり、火傷する。
	パイプのノロ取り棒（暫定工具）の上部から湯が溢れ出て、皮手袋の隙間から入り火傷する。
分析試料採取作業	柄杓で湯をすくう時、飛散した湯が靴に入り火傷する。
	柄杓を持って移動中、他人とぶつかって湯がこぼれ足を火傷する。
	試料を折る時に、割れた破片が飛散して靴に入り火傷する。
電気炉からの出湯作業	炉の傾動誤操作で溶湯がこぼれ、湯が足に当たり火傷する。
	保持炉への長樋の誤操作で溶湯がこぼれ、湯が足に当たり火傷する。